

令和7年3月7日

保護者様

春日部市立粕壁小学校校長

## 令和6年度 学校教育に関するアンケート結果について

啓蟄の候、保護者の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、過日皆様にご協力いただいた「令和6年度学校教育に関するアンケート（保護者）」及び「学校教育アンケート（児童）」の結果をまとめましたので、お知らせいたします。紙面の都合上、全ての御意見を記載できなかったことについてはご容赦ください。今回、いただいた貴重なご意見を参考に今後の学校運営を進めてまいります。ご協力ありがとうございました。

## （１）記述欄のご意見等

## 【良い点】

## ①学習指導・行事

- ・ 自主学習の先生からのコメントが嬉しいようで自分で工夫しながら色々な学習をしています。また、たくさんの先生が挨拶の際などにも色々とお声がけをしてくださっていて、嬉しそうに家でも話してくれます。
- ・ 学校公開日の校長先生のけん玉授業が素晴らしかったです。これからも、学校の教科以外において大人が生き生きと子ども達に文化や職業に関する事等を教え、意見を交換したりして学び合う授業を増やして頂きたいと思いました。
- ・ 人数も多い小学校ですが、先生方が一人ひとりに向き合って対応してくださっていると感じます。
- ・ 校内音楽会は、低学年、高学年での入れ替えで、入れ替え回数減って良かったと思います。
- ・ 運動会のお弁当がなくなったのは、とてもありがたいです。
- ・ 行事などを通じ、課題にまっすぐ向き合って全力投球する子供たちの姿には毎回、感動します。

## ②学校生活

- ・ 旗当番の見守りを行っている際、挨拶をしてくれる子が増えた事が嬉しかったです。
- ・ 子どもは学校が大好きです。親のような主任の先生や担任の先生に恵まれ、最高学年らしい成長を感じています。
- ・ 先生たちの暖かいご指導のおかげで楽しい学校生活を送ることが出来て感謝しています。
- ・ いつも子どもたちのために、熱心にご指導いただきありがとうございます。おかげさまで、毎日楽しく学校に通っています。学校でさまざまな取組をしてくださっているの、我が子も少しずつ成長できていると思います。

## ③施設・設備・環境

- ・ トイレが改装され、使いやすくなり良かったです。

## ④その他

- ・ 保護者の意見を取り入れてくださり、子供たちもそれに応えようとする姿がみられます。また、休んでいた間の分の学習のサポートもしていただき、本人も安心して学校に通っています。担任の先生をはじめ、学校の先生方に感謝しております。
- ・ あおぎり賞での表彰を子どもが喜んでいました。毎日楽しく学校に行けており、ありがとうございます。
- ・ 昨年度から思っておりましたが、学校だよりの校長先生のお話(文章)が、いつも素敵で、深く考えさせられます。毎月楽しみにしています。
- ・ 子供達が楽しく学校に通っているの、とても感謝をしています。先生方の負担を減らして、無理のない範囲で指導をして頂ければと思っています。こんなにけん玉をやっている小学校は少ないと思うのでそれを特徴にしたらいいなと思っています。

→ 多くの感謝の声や励ましの声、教職員の体調を気遣う声があり、大変うれしく、そしてありがたく存じます。これからも学校・保護者・地域が一体となり、日々の教育活動の充実に向けて、また豊かな学びの実現に向けて、粕壁小ならではの特色ある教育活動を推進してまいります。

## 【課題・解決策】

### ①学習指導・行事

- ・算数の少人数学習を復活させて欲しいです。
- ・英語に接する時間が減ってしまった為、E-タイムを再開して欲しい。
- ・硬筆や書き初めの練習時間(宿題を含めて)が少なくなっているのが残念です。授業の関係で、学校での練習時間の確保は難しいのかもしれませんが、宿題でもよいので、練習の時間を少しでも取れるようご検討いただけると幸いです。よろしくお願いいたします。
- ・高学年になるにつれて、宿題が多いかないと思いましたが、塾など習い事の宿題もあるので、ドリルのみであとは自由でも良いかと思っています。先生方の宿題チェック作業も減らせると思います。

→ 法令に基づいたうえで、児童の実態や本校の課題等、様々な情報をもとに教育課程を編成しています。宿題につきましては、各学級の学習進度や定着状況等を勘案して適切な量を課題としています。個に応じた課題の内容や量についても検討してまいります。

- ・運動会にもう少し競うものがあったともいいと思いました。
- ・運動会の種目は安全を重視した方がよい。
- ・持久走が記録会に変わり、持久走大会として見学ができなくなってしまったことがとても残念です。見学場所を校庭内にしてご近所さんに迷惑がかからないようにして、声援も控えるかたちにするなどしても、見学できるものであってほしかったです。

→ 行事の実施や実施方法につきましては、いくつかご意見をいただきました。児童の実態、学校の環境等、様々な視点から検討してまいります。

### ②学校生活

- ・1点だけ気になるのは、学校の外での児童たちのあいさつです。交通指導の立哨当番の時にこちらからのあいさつに答えてくれるのはごく数人。ほとんどの子が目を合わせることもしないのがずっと気になっていました。学校の中では挨拶している様子をよく見かけるので、学校の外でも同じように地域の人たちなどに挨拶できるようになると素晴らしいなあと思います。

→ あいさつにつきまして、複数ご意見をいただきました。裏面グラフの結果からもわかる通り、本校の課題の一つととらえています。あいさつする理由やよさを考えるなど、機会をとらえて繰り返し指導してまいります。

- ・交通安全指導をもう少し、しっかり教えてほしいです。朝はまだ旗当番がいるので大丈夫ですが、下校時はかなりヒヤッとする場面があります。大変だとは思いますが1年生の先生以外もたまに先回り等をして普段の子供達の様子をチェックしていただきたいです。

→ 安全な登下校、道路の横断、交通ルールの順守など、交通安全につきましては機会をとらえて繰り返し指導しているところです。また、職員による登校時の定期的な安全点検及び指導を継続してまいります。

### ③施設・設備・環境

- ・教室などの床がホコリっぽいので濡れ拭きしてほしいです。雑巾をしぼる練習にもなると思います。

→ 木の床を水拭きすることは床の劣化を早めることにつながるため避けています。

- ・ひとクラスの人数が多い為授業参観に行った時に教室に入りきらずよく見られません。

→ 児童の座席配置を工夫し、参観スペースをできるだけ確保するよう努めてまいります。

### ④その他

- ・リーバー送信について、欠席や遅刻のみ送信するように変更してはどうか。近隣の学校では毎日の送信はしていないようです。

→ 現在、欠席や遅刻、早退、体育の見学、その他学校へ連絡がある場合のみリーバーでの送信をお願いしております。

- ・給食献立表がリーバー配信になってしまいましたが、献立表は紙の方が良いのではないかと感じています。以前は、献立表を娘と見ながら明日のメニューについてなど、会話をすることがありましたが、そういった機会が減ってしまいました。

→ ペーパーレス化や業務改善の視点から、保健だより等とともにリーバーでの配信にしております。なお、リーバーでの閲覧ができないなどの場合にはご相談ください。

本年度も、保護者や地域の皆様の多大なご協力、深いご理解のおかげで教育活動が滞りなく展開されました。誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。日頃の保護者の皆様のお声掛けや、ボランティアの皆様のご支援により豊かな学びが後押しされ、こどもたちは心身ともに大きく成長しました。今後も教育活動をなお一層工夫・改善し、粕壁小学校のこどもたちの「かしこさ」「たくましさ」「ゆたかさ」の育成に向けて、職員一同尽力してまいります。

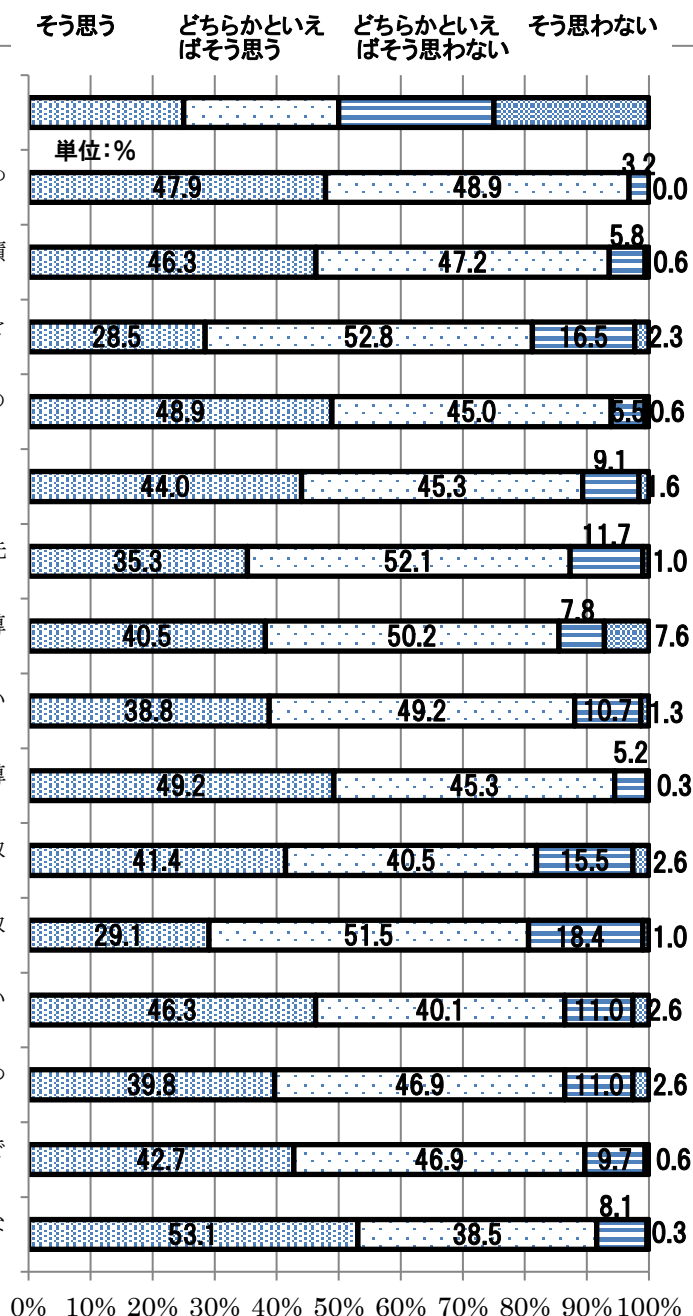
裏面「アンケート結果」もご覧ください

## 【結果（保護者）】

### 【評価項目】

凡 例

- 1 学校は、学校教育目標（かしこさ・たくましさ・ゆたかさ）の実現に向け、積極的に取り組んでいる。
- 2 学校は、「わかる授業」「楽しい授業」づくりに積極的に取り組んでいる。
- 3 学校は、できるようになるまで根気強く学習指導をしている。
- 4 学校は、思いやりの心や感謝の心を大切にする心の教育の充実に積極的に取り組んでいる。
- 5 学校は、体力の向上を目指した指導に積極的に取り組んでいる。
- 6 学校は、お子様に応じた保健指導（健康観察・手洗い・歯磨き等）を行っている。
- 7 学校は、事故やけが、災害などに対応した安全指導を行っている。
- 8 学校は、一人一人を大切にした指導や対応をしている。
- 9 学校は、子供のがんばりを認め、良さを伸ばす指導に努めている。
- 10 学校は、子供たちがあいさつや返事ができるよう取り組んでいる。
- 11 学校は、子供たちが丁寧な言葉遣いができるよう取り組んでいる。
- 12 お子様は、宿題や家庭学習にしっかり取り組んでいる。
- 13 お子様は、早寝、早起き、朝ごはんの習慣が身についている。
- 14 学校は、特色ある学校づくりに積極的に取り組んでいる。
- 15 学校は、学校だよりや学年だより、ホームページなどで教育活動を分かりやすく伝えている。



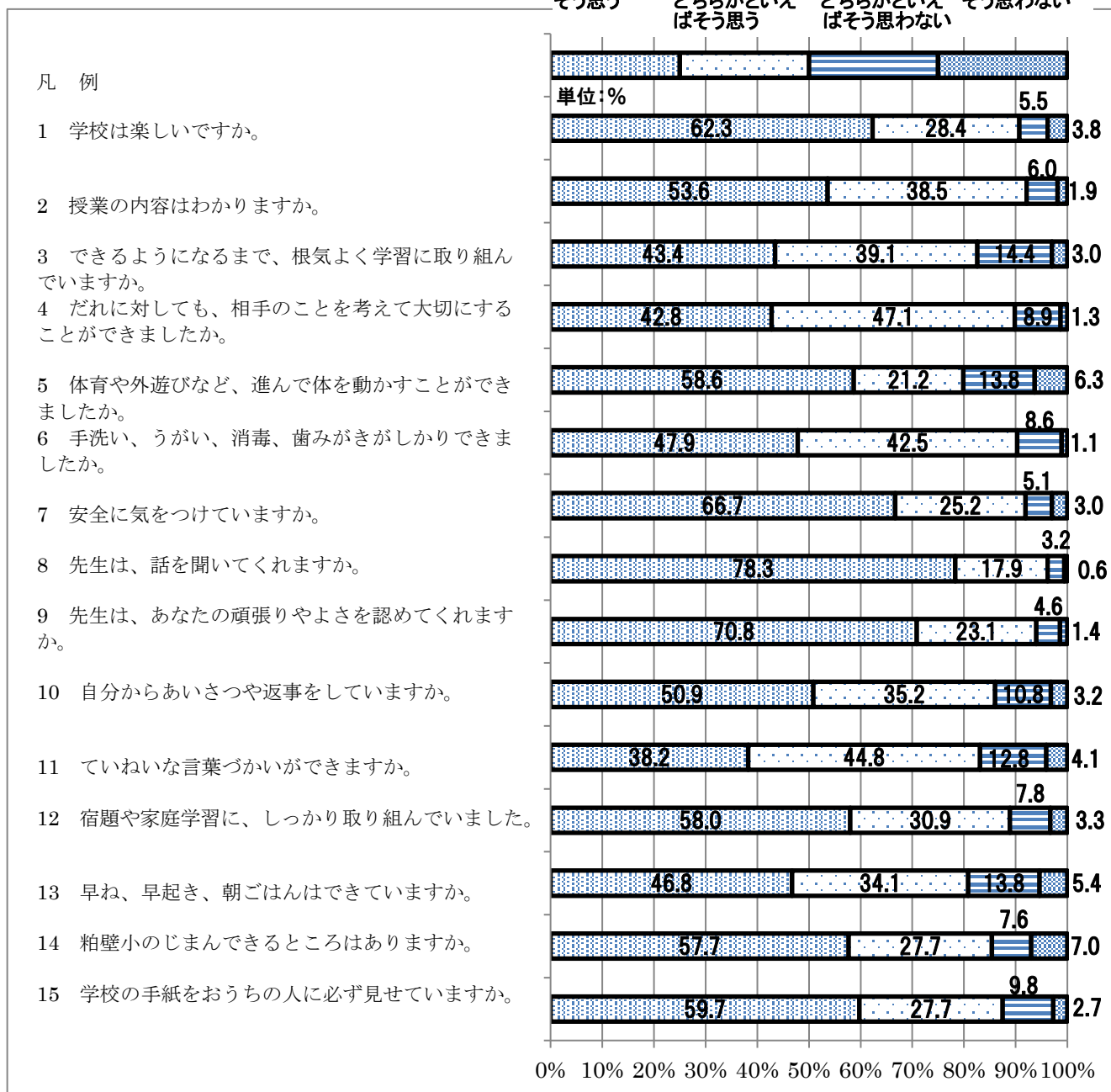
### 【調査の統計から】

「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の回答の合計が90%を越えた項目は、【1】、【2】、【4】、【9】、【15】の5項目でした。特に【1】と【2】は学校の教育活動の根幹にかかわる部分ですので、高い評価をいただいたことは大変うれしく思います。

一方で、「そう思わない」「どちらかというそう思わない」の割合が高いのが、【3】、【10】、【11】です。【3】のできるようになるまで根気強く指導することは、学力の向上や学ぶ楽しさに結びつく大切な要素です。限られた時間の中ではありますが、1時間の授業で何を、どのように学ばせて、何を身に付けさせるのか、学習課題や授業のねらいを明確にして指導していきます。

また、【10】のあいさつや返事、【11】の丁寧な言葉づかいにつきましては、学校生活だけでなく、日常生活においても必要なものです。教職員で共通理解をし、機会をとらえて、継続した指導を進めてまいります。ご家庭におきましてもあいさつ、返事、言葉づかいについてお話くださるようお願いいたします。

## 【児童結果】



## 【調査の統計から】

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答の合計が90%を越えた項目は、【1】、【2】、【6】、【7】、【8】、【9】です。学校が楽しく、授業が分かると考えている児童、教員が話を聞き、よさや頑張りを認めてくれると考えている児童が多数いるということは学校として、大変うれしく思います。しかし、「そうではない」と感じている児童が少なからずいるということは学校としては痛恨の極みです。どの児童も、「学校が楽しく、授業が分かる」、また「先生に安心して話ができる」、「先生がよさやがんばりを認めてくれる」と答えられるよう、指導法の工夫と改善、学級経営の充実を図っていきます。

【3】の根気強い学びにつきましては、あきらめない気持ちや最後までやり抜く心の大切さを指導するとともに、児童にとって魅力的な学習のゴールを設定し、課題の解決に向けて個に応じた支援を継続していきます。【10】のあいさつ、【11】の言葉遣いに関しては、教師が範となり、あいさつの習慣化、言語環境のなお一層の整備に努めてまいります。